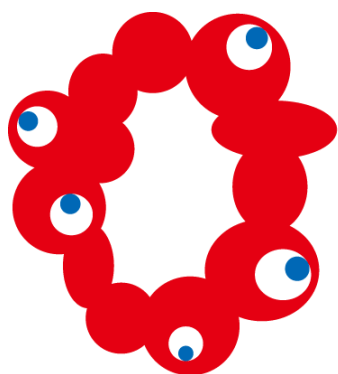


此花区 将来ビジョン

“区民ひとりひとりが元気で笑顔にあふれ、
輪になって、いのちが輝き続けるまち”



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

※ 区の将来ビジョンは、令和2年度から令和5年度までの概ね4年の期間を見据え、区がめざす将来像を設定しています。

【主な SDG s】



項 目	防災・減災
ビジョン	災害が発生した時または発生のおそれがある時に、すべての区民が様々な条件（災害の種類・自宅の立地条件や建物の種別・避難開始のタイミング）に応じた適切な避難行動ができるまち
現 状	① 災害時において 災害時避難所に定員を大きく超える避難者が避難所に来る可能性が大きい ② 津波・大津波に際して、安全でない地域にいるのに津波避難ビル等に避難すべきことを知らない区民が多数いる ③ 大雨や台風及びそれに伴う洪水・高潮等についても他都市の事例から、警戒レベル3以上が発令されても適切な避難がされない可能性が高いと思われる 総じて、区民が、災害時において、災害の種別と程度に応じた適切な避難ができる状態にあるとはいいいがたい
課 題	①②③について、多くの区民に此花区災害時区民避難指針を知っていただき、区外への分散避難も含め、同指針に沿った避難行動をとるように備えてもらうことが課題である
令和5年度までの計画	・ 此花区災害時区民避難指針を啓発するとともに、世帯別避難計画作成を促進・支援する

【主な SDG s】



項 目	子ども
ビジョン	すべての子どもに適切な支援がなされ、学力や、将来の夢や目標及び社会を生き抜く力を身につけながら、いのちを輝かすために成長しつづけているまち 【児童虐待予防については別掲】
現 状	① 此花区の児童・生徒の学力は全国平均や大阪市平均と比べて低くなっている ② 此花区の「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」は全国平均や大阪市平均と比べて低くなっている ③ 此花区の「課題解決に向け取り組んでいる児童の割合」は全国平均や大阪市平均と比べて低くなっている
課 題	① 授業外の学習計画、学習時間を向上させることや、児童・生徒の理解度に応じた学習・学習機会の提供が課題である ② 職業体験や職業講話を通じてより多くの児童・生徒が将来の夢や目標をイメージできる学習内容とすることが課題である ③ 一部の児童だけでなく、全員が課題解決学習のグループワークに積極的に参加できるようにすることが課題である
令和5年度までの計画	・ 学力向上へ向け児童・生徒の指導を適切に行うためのツールを導入する ・ 自主学習の充実に向け、保護者との情報共有を行う ・ 児童・生徒の理解度に応じた学習・学習機会を提供する ・ 職場体験や職業講話の受入れ先と連携し、より多くの児童・生徒が将来の夢や目標をイメージできるような学習内容を提供する ・ 全ての児童が課題解決に向けて積極的にグループワークに参加することができるツールを導入する

【主な SDG s】

項 目	福 祉			
ビジョン	すべての高齢者が、地域の中で温かく見守られいのちを輝かせ続けているとともに、すべての子どもが適切な支援のもと虐待を受けることなくいのちを輝かせ成長しているまち			
現 状	① 単身高齢者化率の伸びや、高齢者人口の増加により今後も単身高齢者が増加していくことが想定される ② 見守りボランティアについては、登録者数が横ばいとなっている ③ 児童虐待通報件数、子育て支援室の相談件数は年々増加している			
課題	① ②近隣の高齢者及び住民と日常的な関係を築き、生活課題の発見や早期の対応を行うことができる地域のアンテナ役、つなぎ役である見守りボランティアを増やすとともに、その活動をより充実させることが課題である ③ 支援の担い手やつなぎ先を充実させ、支援の必要なこどもと保護者を孤立させないことが課題である			
令和5年度までの計画	【高齢者見守り】 - 見守りボランティアの地域での認知度を向上し、見守りボランティアの発掘・育成に取り組むとともに、その活動を充実させる - 見守り活動にICTツール等を用いた手法を検討し、若い人にも受け入れやすい形でボランティア活動を情報発信することにより見守りボランティアの発掘・育成をすすめる 【児童虐待予防】 - 子育て支援室と保健師、学校との連携、こどもサポートネット事業の活動、民生委員・児童委員との連携など、子どもや世帯の状況を把握できる場を増やす - 学校や保健師、保育所などの所属機関からの情報提供にもとづき、支援が必要な18歳未満のすべての児童および保護者に身近な区役所において、もれなく子育て支援を行う体制を構築する。 - 主任児童委員のより一層の参画や地域の子育てボランティアの育成を図る			

【主な SDG s】

項 目	まちづくり 環境	12 つくる責任 つかう責任 	11 住み続けられる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナースhipで 目標を達成しよう 
ビジョン	区民ひとりひとりが地球環境や地域社会をよくする取り組みを行い、地域課題解決のための新たな担い手となって各種地域団体に参加することで、地域活動協議会（地活協）が活性化し、様々な主体と地域課題や地域社会の将来像を共有しながら、自律的な地域運営を行っているまち				
現 状	① 区のホームページや広報紙を活用して地活協の認知度向上につとめているものの、認知度向上が図れていない ② 地域活動に参加している区民の割合が低い ③ 地活協の意義や地活協に求められる準行政的機能や総意形成機能について、地活協構成団体の理解が促進されているものの、理解度はまだ十分でない ④ 地活協による自律的な地域運営に向けて、まちづくりセンターが有する専門的なスキル・ノウハウを活用しながら支援を行ってきたことで、一定取組の増加や自律度の向上はみられるものの、地域の実情に応じた取組が進んでいない地域がある ⑤ 気候変動や海洋プラスチックごみの問題など、地球の環境は悪化の一途をたどっているが、持続可能な社会の実現に関心がない区民も相当数いるものと思われる				
課 題	① 地活協が主催しているイベント等において PR を実施するなど、地活協の取組を通じて認知度を向上させることが課題である ② 新たな地域活動の担い手を確保することが課題である ③ 地活協の意義や求められる機能について理解が深まるよう、引き続き積極的な働きかけを行うことが課題である ④ 地活協への支援の効果検証に基づき、地域の実情に即した最適な支援を行うことが課題である ⑤ 区民ひとりひとりに持続可能な社会の実現に向けて関心を持っていただく取り組みを行うことが課題である				
令和5年 度までの 計画	・ 地活協の認知度向上のため様々な媒体を活用し活動や取り組みの PR を図る ・ 意欲と能力のある新たな担い手の確保や、幅広い年齢層が地域活動に参画できるための支援を行う ・ 地活協における活動内容の透明性の確保や地域課題の発見と解決策の検討にかかる区役所職員による支援を強化し、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行う ・ 児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業において活用してもらう ・ 区民が持続可能な社会の実現に関心を持てるようペットボトル回収等地域と連携した資源循環の取り組みの支援を行う				